

徳山工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	建築設計計画学
科目基礎情報					
科目番号	0037		科目区分	専門 / 選択	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	環境建設工学専攻		対象学年	専2	
開設期	後期		週時間数	2	
教科書/教材	建築計画教科書研究会編著「建築計画教科書」(彰国社)				
担当教員	古田 健一				
到達目標					
1. 住まいとまちの構成原理が理解できる。 2. 建築計画の方法論が理解できる。 3. 有名建築家の作品構成原理が理解できる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
住まいとまちの構成原理	住まいとまちの構成原理を説明できる。		住まいとまちの構成原理を理解してる。		住まいとまちの構成原理を理解していない。
建築計画の方法論	建築計画の方法論を説明できる。		建築計画の方法論を理解してる。		建築計画の方法論を理解していない。
有名建築家の作品構成原理	有名建築家の作品構成原理を説明できる。		有名建築家の作品構成原理を理解してる。		有名建築家の作品構成原理を理解していない。
学科の到達目標項目との関係					
到達目標 C 1 JABEE d-1					
教育方法等					
概要	本科で履修した建築計画の知識をもとに、計画各論的な位置付けだけでなく、まちづくりを意図した建築設計計画について学ぶ。具体的には建築計画の構成を理解した上で、空間計画、計画の表現の手法などを学び、それを応用した具体的な建築作品について考察をする。最近の建築作品の中から、新たな知見を得ることで、将来の実務に役立つ知識を修得する。 この科目では、企業で建築設計・建築計画業務に従事していた教員が、その経験を活かして講義形式で授業を行う。				
授業の進め方・方法	英語による講義形式で授業を行う。学習シートは毎回の授業の内容を確認するために使用する。その内容を確実に身につけるために、予習復習が必須である。				
注意点	成績評価 = 試験 (100点満点) 【関連科目】 本 科 : 建築計画 (3年)、都市計画 (4年)、専攻科 : 住宅計画学 (1年)				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	COMPOSITION OF ARCHITECTURAL PLANNING	建築計画のプロセスと建築計画学の位置付けを理解できる。(学習シート#01)	
		2週	PLANNING ARCHITECTURAL SPACES	設計作業の構造を理解し、空間計画の作業段階を理解できる。(学習シート#02)	
		3週	FRAMEWORK AND SHELTER	建物を支える架構と、建物内外を仕切る被膜で形成される住宅の設計手法を理解できる。(学習シート#03)	
		4週	ARCHITECTURAL PLANING AND EXPRESSION	プレゼンテーションとデザインの手法を理解できる。(学習シート#04)	
		5週	PLANNING FORMS OF ARCHITECTURE	巨匠と呼ばれる建築家の空間のデザインを理解できる。(学習シート#05)	
		6週	DESIGNING A CIVIC HALL VIA COMPETITION SYSTEM	コンペ方式の設計事例にを理解できる。(学習シート#06)	
		7週	PRODUCING A SCHOOL WHILE CONSIDERING STUDENT CREATIVITY AND NOISE LEVELS	計画・設計プロセスと教師の参加の設計例を理解できる。(学習シート#07)	
		8週	HARMONY BETWEEN FUNCTION AND HUMANITY OF A HOSPITAL	地域医療システムの中の病院計画の設計例を理解できる。(学習シート#08)	
	4thQ	9週	A PATTERN LANGUAGE: TOWNS, BUILDINGS, CONSTRUCTION	パタンランゲージによる学校建築設計例を理解できる。(学習シート#09)	
		10週	BUILDING DESIGN FOR THE HANDICAPPED PEOPLE	障害者の立場に立つことの理解のために設計例を理解できる。(学習シート#10)	
		11週	INTELLIGENT BUILDING DESIGN AND PLANNING	高機能な事務所ビル設計例を理解できる。(学習シート#11)	
		12週	COMMUNITY PLANNING BASED ON HISTORY	川越の町づくりを理解できる。(学習シート#12)	
		13週	PLANNING AND DEVELOPING PROCESS OF PREFABRICATED HOUSES	プレハブ住宅開発の諸段階における計画を理解できる。(学習シート#13)	
		14週	CO-OPERATIVE HOUSING DESIGNED WITH RESIDENTS	コーポラティブ住宅の実例を理解できる。(学習シート#14)	
		15週	FINAL TEST	住まいとまちの構成原理、建築計画の方法論、計画と建築計画に関する知識の理解の程度を確認する出題。	
		16週	REVIEW	答案解説講義とアンケートの実施。	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	100	0	0	0	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0